



雪小だより 9月号

令和5年9月1日
大田区立雪谷小学校
校長 八木 貴広

<http://www.ota-school.ed.jp/yukigaya-es/index.html>

子育ては親育ち

校長 八木 貴広

大田区出身のバンド、SEKAI NO OWARI。ピアノ・キーボードを演奏している Saori さんは、東三小、大森七中を卒業されているので、雪谷から歩いて行けるほどのところで子ども時代を過ごしたようです。この Saori さんは藤崎彩織の旧姓本名で小説やエッセーを書いています。筆力のある人で直木賞候補にもなりましたから、お読みになられた方がいらっしゃるかもしれません。

藤崎さん自身が小学校1年生のときの話です*1。夏休みが近づきました。大阪に住む祖母のもとに一日でも早く行きたい、でもどうしたらよいか、と彼女は考えました。6歳の結論は、「お母さん、私一人で大阪に行く！」——言い出したら聞かない6歳の娘。母はやむなく一人で新幹線に乗せる決意をします。こちらのドアの外とあちらのドアの外では親族が見守りますし、早い話が乗って降りるだけのことから、簡単と言えば簡単そうです。が、子どもを一人で遠方に送り出すという決意はそうたやすくできるものではないように感じます。私も、子を一人で遠方の親戚のもとに送り出したことがあります。小学校の高学年になってからのことでした。（後から本人に聞くと、車内で盛大に飲み食いしていたようですが…）

出発当日のお母さんの言動には、親の細やかな心遣いと心配が表れています。藤崎さんが、トイレに行っても迷うことなく戻りやすい席を指定したり、3列シートの隣2席がたまたま親子連れで「この子一人で新大阪まで行くんです。…よろしく願います」と頼み込んだり、当の親子連れが名古屋で下車すると知るや「絶対に京都で降りたらあかんよ」と藤崎さんに散々念押ししたり。それとは逆に、ケロツとした顔でちょこんと座っている6歳の少女の顔が目に見えなくて吹き出しそうになります。車体が動き出し「手を振る母の姿が見えなくなると、もう戻れないという不安と何が待っているんだろうという期待でこめかみの奥がぎゅうっと縮こまった」藤崎さんですが、車内販売のアイスクリームは忘れずしっかり食べるあたりが抜け目ない。ワゴンが来るのを、ちゃんと起きて待っていたのね。

藤崎さんは、新幹線が京都駅を発つや早々に席を立てデッキに出ました。列車が新大阪のホームに滑り込みます。減速する車の窓から、遠くに祖母が立っているのが見えました。扉が開くと「笑顔になった」祖母が、「あんたよう頑張ったなあ。一人でこられたなあ！」——その数十年後になって、藤崎さんは、自分の到着をホームで待っていた祖母と、ホームで送り出した母の気持ちに思いを巡らせます。そして彼女は、ああそうだったのか、と気付くのでした。自分は「褒められ、冒険を成功させた気になっていたけれど、冒険をしていたのは彼女たちの方だったのかもしれない」。なるほど、藤崎さんの経験は、当人にとって初めての経験として冒険であるように、親にとっても初めての経験として冒険だと言えそうです。それぞれが共通の出来事に接しながら別な冒険をする中で、それぞれに見出した何かがあったのでしょうか。

「子育ては親育ち」という言葉があります。子どもが時間をかけて育っていくように、親も時間をかけて親になっていくということでしょうか。視点を変えると、子どもが日々成長・変化していくように、それを発見できる親の感受性も日々成長・変化していくものなのではないでしょうか。もちろん、経験上、常に順方向ではないようですが。私たち教員も、子どもたちを見る目、成長変化をキャッチする感受性を日々高めていかなければなりません。学校教育を通して子どもたちを育てていくことは「教師育ち」だということもできるでしょう。今日から始まる2学期は、学校行事が盛りだくさんです。長く記憶に残るような意味深い豊かな経験を、たくさん子どもたちにさせていきたいと考えています。そのような日々の中で、雪谷小学校、子どもも教職員もますます育っていきます。今学期もご理解ご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

※1 藤崎彩織「6歳の経験」日本経済新聞 2019.9.17

授業改善推進プラン

雪小の窓

本年度も大田区の学力効果測定等の結果を踏まえ、全学年・全教科で、昨年度の授業改善推進プランの振り返りをいたしました。新しい授業改善推進プランは、8月末に、本校ホームページにアップロードいたしました。今後の授業で活用していきます。

大田区漢字検定

大田区の国語力向上に関する事業の一環として、今年度も大田区の漢字検定を行います。第1回目は9月7日（木）に実施します。漢字の学習における自己目標の一つとして位置付けています。児童一人一人がチャレンジ目標を設定して、がんばってほしいと考えます。

9月の目標

規則正しい生活をおくろう

1	金	始業式	SC
2	土		
3	日		
4	月	放送朝会 給食始 計測 (6年) 1年生週4で5時間授業始	
5	火	計測 (5年)	SC
6	水	学習タイム 安全指導日 計測 (4年) 2年水曜日5時間授業始	
7	木	漢字検定① 委員会活動 計測 (杉の子)	
8	金	児童集会 プール納め 5年移動教室前検診	SC
9	土	土曜授業 算数補習 (3・4年)	
10	日		
11	月	放送朝会 避難訓練 (地震・起震車体験3年)	
12	火	5年移動教室 (伊豆高原) 計測 (3年)	SC
13	水	5年移動教室 (伊豆高原) 計測 (2年) 学習タイム 算数補習 (3・4年)	
14	木	クラブ活動 計測 (1年)	
15	金	運動朝会 (6年) 計測 (欠席者)	
16	土		
17	日		
18	月	敬老の日	
19	火	放送朝会 個人面談希望調査票配布	SC
20	水	学習タイム 補習 (5・6年)	
21	木		
22	金	自転車教室 (3年) 児童集会	SC
23	土	秋分の日	
24	日		
25	月	放送朝会	
26	火	ステップタイム	SC
27	水	学習タイム 補習 (3・4年) 校内研究 (杉の子)	
28	木	運動会係活動① (1~4年は5時間)	
29	金	杉の子連合運動会 運動朝会 (5年) 個人面談希望調査票 配 切	SC
30	土		

SC・・・スクールカウンセラー



3年生 2学期に向けて

3年担任

3年生は、2年生の時と比べ、新しい教科が増えました。「社会」では、大田区について学習し、1学期には初めての社会科学見学に行きました。大田市場や羽田空港を実際に見ました。どちらもとても広いことや多くの人たちが働いていることが分かりました。教室では学べない貴重な経験ができました。

「理科」では、校庭の花壇に「ヒマワリ」や「ホウセンカ」を植えました。グングン成長し、子供たちの身長よりも高くまで伸びたヒマワリもありました。

「総合的な学習の時間」では、カイコを育てました。毎日毎日くわの葉を与え、大きくなっていく姿を観察しました。繭になると「すごい！繭になった。」と、とてもうれしそうでした。2学期も、みんなで協力し合いながら、全力で取り組んでいきたいと思っています。

ステップタイムについて

特別活動部

これまでコロナ禍で規模や活動を縮小していたステップタイム(全学年の児童が集まってグループを作り、一緒に活動する縦割り班活動)が今年度、再開されました。

1、2学期は6年生が中心となって、遊びを企画したり、行ったりし、3学期は次年度最学年となる5年生が中心となって活動を進めます。

上の学年は、下級生が楽しめるように、下の学年は、上級生が滞りなく班での遊びを進められるように、互いに思いやりをもって行動することで、それぞれのよさや違いを知る機会になります。

9月下旬には、3回目のステップタイムがあります。回を重ねる毎に、上級生に自覚が芽生えていることが、声掛けや振る舞いから伝わります。下級生も指示を懸命に聞いて楽しんでいる姿が見られました。1年を通して子供たちがより成長していけるよう、励ましていきます。

ICT推進委員会

ICT推進委員

1人1台のタブレット端末を学習に使うようになって3年目となりました。子供たちは、とても吸収が早く、新しい機能も、どんどん使いこなすことができている。どの学習でも、タブレット端末を活用する機会が増え、学習のツールとして、授業で上手に使っている場面が多く見られました。以下のようにタブレット端末を授業で活用しています。

調べる…検索エンジンを使い、情報を取捨選択する。
考えを共有する…画面上で友達と自分の意見を比較する。

まとめる…プレゼンテーションツール等で写真も活用しながらまとめる。

復習する…苦手な単元を選んで、繰り返し練習する。

今後、さらに学習の中でも中心となるだろう便利なタブレット端末ですが、児童一人一人の情報モラルの定着など、課題は様々あります。家庭・地域・学校が連携し合いながら、児童を育てていけるようご協力をお願いいたします。